

2013年4月15日

各位

双日株式会社

オマーン IPP（独立系発電事業）「ソハール 2」「バルカ 3」の商業運転開始  
～合計発電容量 1,488MW を供給～

双日株式会社は、オマーンにおいて、世界大手のガス・電力会社であるスエズグループ（GDF SUEZ Group）、オマーンの大手財閥スヘイル・バウワングループ、オマーン年金ファンド、四国電力と共同で進めてきた同国最大の IPP（独立系発電事業）「ソハール 2」「バルカ 3」がこのたび完工し、それぞれ 4 月 3 日と 4 月 4 日（現地時間）に商業運転を開始しました。日本企業がオマーンで IPP プロジェクトに参画するのは初めてのことです。

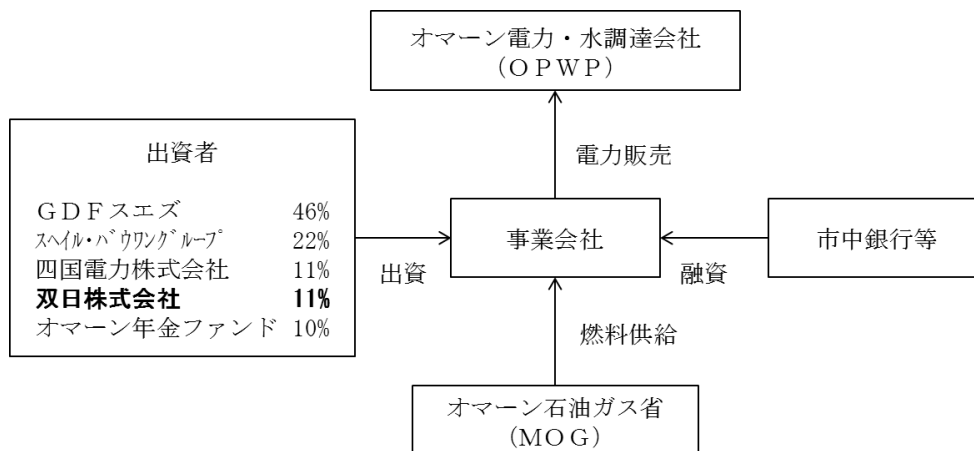
「ソハール 2」および「バルカ 3」は各々出力 744MW のガス焼きコンバインドサイクル（複合発電）発電所で、オマーン的首都マスカットの北西 240km に位置するソハール地区および北西 75km に位置するバルカ地区に立地、オマーン電力・水調達会社との間で締結した 15 年間の長期売電契約に基づき電力を卸販売します。

オマーンでは経済成長に伴って急速に電力需要が拡大しています。従来のオマーン国内の総発電容量は約 4,500MW でしたが、「ソハール 2」と「バルカ 3」が稼働したことで合計発電容量 1,488MW が上乗せされ、同国総発電容量の約 25%をまかなうこととなります。



【バルカ 3】

## プロジェクトスキーム



双日は長期安定収益が見込まれる IPP 事業を重点分野と位置付けて拡大・強化を図っており、中東では、すでに商業運転を開始しているサウジアラビア「リヤド PP11」（出力 1,729MW、出資比率 15%）に続く IPP 事業となります。今後も中東の湾岸諸国や東南アジアなどを中心に IPP 事業に積極的に取り組んでいきます。

以上

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-6871-3404